

平成26年度第2回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日 時：平成26年5月26日（月）10：00～12：00

場 所：各コア校（遠隔会議システム利用）

議 題：

1. SPOD事業評価について

- ・平成25年度SPOD事業の評価について 【資料1-1】
- ・事業評価シート 【資料1-2】
- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)事業評価委員会要項 【参考資料1-1】
- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業評価委員会委員名簿 【参考資料1-2】

2. SPODフォーラムについて

- ・SPODフォーラム2014実施要項 【資料2-1】
- ・SPODフォーラム2014プログラム（案） 【資料2-2】

3. 授業設計ワークショップの開催について

- ・授業設計ワークショップ実施要項 【資料3】

4. 授業デザインワークショップの開催について

- ・授業デザインワークショップ実施要項 【資料4】

平成26年度 第2回ネットワークコア運営協議会出席者名簿

大学名	所 属	氏 名	担当
徳島大学	総合教育センター 教育改革推進部門 教授	川野 卓二	FD
	総合教育センター 教育改革推進部門 准教授	宮田 政徳	FD
	総合教育センター 教育改革推進部門 特任研究員	上岡 麻衣子	FD
	総務部人事課長	関谷 直樹	SD
	総務部人事課課長補佐	沖津 貴司	SD
	学務部教育企画室教育企画係長	金治 志津子	事務
香川大学	教育・学生支援室修学支援グループ チーフ	石井 さおり	FD
	経営管理室給与福利グループ リーダー	松永 京一	SD
	経営管理室給与福利グループ チーフ	川池 晃子	SD
	教育・学生支援室学務グループ リーダー	野口 豊裕	事務
	教育・学生支援室学務グループ チーフ	中屋敷 美和	事務
	教育・学生支援室学務グループ グループ員	吉鷹 麻穂美	事務
高知大学	総合教育センター大学教育創造部門 教授	塩崎 俊彦	FD
	総合教育センター大学教育創造部門 准教授	立川 明	FD
	総合教育センター大学教育創造部門 講師	俣野 秀典	FD
	人事課長	中山 胤	SD
	人事課課長補佐	川崎 美保	SD
	人事課労務管理係長	有友 幸代	SD
	人事課労務管理係係員	高松 基子	SD
	学務課総合教育センター事務係長	武内 智之	事務
	学務課総合教育センター事務係 事務補佐員	石川 愛	事務
愛媛大学	教育・学生支援機構副機構長／教育企画室長	小林 直人	FD
	教育企画室副室長	山田 剛史	FD
	教育企画室副室長	秦 敬治	SD
	教育企画室特任助教	丸山 智子	SD
	総務部長	西尾 澄気	FD
	教育学生支援部長	吉田 一恵	SD・事務
	教育企画課副課長	織田 隆司	SD・事務
	人事課長	秋谷 恵子	SD
	人事課副課長	久保 秀二	SD
	人事課人事・人材育成チームリーダー	大塚 陽介	SD
	人事課人事・人材育成チーム	古村 翔	SD
	教育企画課長	神 智彦	FD・事務
	教育企画課教育企画チームリーダー	濱元 悠子	事務
	教育企画課能力開発室	秋山 裕佑	事務
	教育企画課教育企画チーム	戸田 裕香	事務
	教育企画課教育企画チーム	八丈野 真子	事務
	教育企画課教育企画チーム	川井 順子	SD・事務

平成25年度SPOD事業の評価について

SPODでは、毎年度事業評価を行い、次年度の事業に活用することとしている。

このたび、平成25年度事業について、5名の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)事業評価委員会委員から活動報告書及びヒアリングをもとに評価をいただいた。

各委員からは、SPODの連携効果及び組織変容の検証のために設置した「調査・研究プロジェクト」が本格的に始動したことに関して高い評価をいただいた。一方で、単年度評価に振り回されないこと、達成度を判断する評価基準を明確化することなど、検証にあたっては中長期的な視点に立ち、発足当初から変わりつつあるSPODの目的・目標と合わせて検証していくことが求められた。

各委員からの主な意見は以下のとおり。

【1】活動計画及び活動実績について

①FD

(強み)

- ・大学教員を対象としたポートフォリオのワークショップに関して充実している。
- ・SPODフォーラムは、全国から参加者を集めており質の高いプログラムの証左であるといえる。
- ・実に多種多彩な内容を展開し提供している点は、強みといえるだろう。
- ・学ぶだけでなく、FDerの養成をしている。

(弱み)

- ・学生者中心の学習環境が叫ばれるなか、ピア・サポーターや学生スタッフの育成と指導、効果検証に関する教職員向けのプログラムがないのは少し疑問である。
- ・メンターに対するネガティブな印象を払拭するには、教員の日常活動の枠組みの中でメンター業務を行うことができるような工夫も必要と思います。
- ・プログラムの提供者に偏りが見られる。
- ・プログラム提供者の養成研修のようなタイプのプログラムがもっとあってもよいのではないでしょうか。
- ・ある一定の方針のもとでプログラムの峻別を行わない限り、SPODの負担は増してしまう。
- ・FDの重要な使命として、それぞれの大学の学生実態に即した授業方法の改善があると思うが、その点での成果がよく見えないこと。

②SD

(強み)

- ・SPODで学んだ教職員自らが次のプログラムの講師をするという、再生産を意図的にやっていること。
- ・プログラムを受講した職員の行動変容が確認できるようになってきている。

(弱み)

- ・プログラムの提供者に偏りが見られる。
- ・受講する職員への事前のオリエンテーションの充実や、SD を日常活動の中で意識できるような環境作りが求められているように思います。
- ・発足当時のニーズが各校で変わっている可能性もあります。再度学習したいニーズを SPOD 全体で検討することも今後必要になるのではないのでしょうか。
- ・せっかく他の大学の方と一緒にになったのだから、コミュニケーションをとりたいという意見も多いようです。研修とは直接関係のないことですが、無視できない要望かと思います。
- ・SD 事業の高度化と、加盟校における制度の成熟（自治）とのバランスが求められる。
- ・ワークを取り入れていることは講義型の研修などに比べればはるかに効果的だが、時間の制約もあって受講生にとって不消化になっているように見える。
- ・フォーラムでは、総じて初心者、初級者対象となってしまうプログラムが多く、中級者、上級者向けが少ない。

(その他、提案等)

- ・調査・研究プロジェクトの今後の成果を大いに期待したい。事業や研修を進めるに当たり、カークパトリックの第 3 レベル「個人の行動変容」や第 4 レベル「組織変容、業績向上」の検証は避けては通れない。
- ・SPOD で学修された職員が、自分のテーマをもって自大学で他の職員に教育する機会を数多く行なうように働きかけてはどうでしょうか。

③組織運営等

(強み)

- ・四国のすべての大学・短期大学・高専を網羅している点は大いに評価できる。持てる大学がそうでない大学に対してニーズに沿った支援を行い、かつ効果的に運営されていることが報告からうかがえた。
- ・調査・研究プロジェクトが立ち上がり、検討が始まったことは重要です。SPOD の運営し、受講生からの多くの評価結果は、大切な資源と思います。5 年後、10 年後の研究に使えるようになると思います。
- ・SPOD 事務局の牽引力。また、コア校（担当者）の貢献。

(弱み)

- ・業務評価などの管理運営業務の負担が大きいのではないかと。評価作業が目的化していないか心配。
- ・SPOD の将来像という観点から、四国地区の全高等教育機関が加盟している現状について、そのメリット・デメリット等を検討する余地があるかもしれない。

【2】次年度実施に向けての提案

- ・報告書の書き方に関して、PCM (Project Management Cycle) の手法を取り入れ、当該年度の目標、その達成度を判断する評価指標、評価基準を明確化して、ロジックツリーによる体系化と効果検証を目指すといわれる。達成度の検証の部分と事業や活動の概要の部分に分けて執筆するなど工夫があるといいのではないかな。
- ・各事業の精選が必要との認識があるが、SPOD の目的に対して事業マップを書き、目的に対して各事業の目標が整合的であるかどうかを点検する必要がある。
- ・特定の機関や人材にかかる負担を軽減する、あるいは、負担の分散化の観点からも、省力化について取り組まれてはいかがでしょうか。
- ・(SPOD各加盟校について) 小規模だが活発である、活発だが SPOD 依存傾向にあるといった状況を把握することが肝要だろう。
- ・単年度の評価に振り回されることなく、中長期的にもつ SPOD の理念・方針と照らして、評価に対して SPOD の考えを示すことも重要ではないか。また、各種事業をデータとして経年的に追っておくことも求められるだろう。
- ・中級者、上級者向けのプログラムは、相当程度の時間を確保した取り組みを検討したほうがよい。

SPODフォーラム2014の開催について（案）

（趣旨）

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝SPOD）」の目玉企画として、SPODの実施する研修プログラム等を集中的に提供する。

（主催）

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）

（日時）

平成26年 8月27日（水）～ 8月29日（金）

（会場）

高知大学朝倉キャンパス（高知県高知市曙町2-5-1）

（参加対象者）

1. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟33校の教職員
2. 1. 以外でFD・SDに興味のある方
※SPOD加盟校の参加者を優先する。

（全体テーマ）

「“気づき”と“振り返り”が大学を変える ～ 成長を確かなものにするために～」

（内容）

大学が大きく変わろうとしている節目にあって、“気づき”と“振り返り”の重要性が注目されています。学習成果や教育業績、業務実績の向上のためのポートフォリオも、より質の高い“振り返り”とそれによって得られる“気づき”をもとにして次のステップをめざすという考え方のもとに普及しつつあります。

SPODフォーラム2014では、シンポジウムや関連プログラムをはじめ、多彩な研修プログラムを通じて、参加者に“気づき”と“振り返り”の場を提供し、学生、教職員の成長、ひいては大学・短期大学・高等専門学校組織としての成長を確かなものとしていくことをめざしています。

（シンポジウム）

プログラム名：大学人のためのリフレクション事始

－人材育成研究・実践のフロンティアから考える

講師：中原 淳氏（東京大学 大学総合教育研究センター 准教授）

（事務担当）

高知大学学務部学務課，SPOD事務局（愛媛大学教育企画課）

(今後のスケジュール (予定))

5月 9日 (金)	各コア校が担当するコマのタイトル・講師等の提出期限 (提出先：SPOD事務局 (愛媛大学教育企画課))
5月26日 (月)	ネットワークコア運営協議会においてプログラムの最終確認
5月30日 (金)	シラバスの提出期限 (提出先：SPOD事務局 (愛媛大学教育企画課))
6月上旬～中旬	案内チラシ作成
6月中旬	案内文書送付 (SPOD加盟校を含む全国の大学)
6月27日 (金)	SPOD加盟校向け参加申込開始
7月11日 (金)	SPOD加盟校向け参加申込締切
7月15日 (火)	全国の大学 (SPOD加盟校含む) の参加申込み開始
7月29日 (火)	全国の大学 (SPOD加盟校含む) の参加者申込締切
8月27日～29日	SPODフォーラム2014実施

全体テーマ:「“気づき”と“振り返り”が大学を変える ～成長を確かなものにするために～」

講師・スケジュール変更

期日・時間・時間帯		会場	会場(1) (共通教育1号館) 125番教室 (100名収容)	会場(2) (共通教育1号館) 136番教室 (70名収容)	会場(3) (共通教育1号館) 141番教室 (70名収容)	会場(4) (共通教育3号館) 310番教室 (90名収容)	会場(5) (共通教育3号館) 311番教室 (70名収容)	会場(6) (共通教育3号館) 335番教室 (90名収容)	
受付		9:00 ~	全体受付: [共通教育2号館: 210番教室(予定)]						
1 日目	1	10:00 ~ 12:00	1. 単独(SD) 宮内星也(高知大学) 「研究支援職員としての基礎知識 ~ゼミ生と教員としての基礎知識~」 口から始める研究者との協働~」	2. 連続受講(SD) 兼松治、阿部光伸、吉田一憲、丸山智子(高知大学) 米澤順二(進手門学院大学) 学)他「SDコーディネーター養成講座」	3. 連続受講(FD・SD共通) 立川明(高知大学)、高橋 孝志、濱田 義博、三島弘孝(高知大学) 短大)「大学版巨匠講座: TBLの手法 ~問題を「作って見よう」~」	4. 連続受講(FD) 兼松治、山田剛史、清水孝子(高知大学)「テーマ別に基づく教育改善の視点と方法 ~教員IR入門~」	5. 連続受講(FD・SD共通) 兼松治、山田剛史、林真輝(高知大学)「「テーマ別に基づく教育改善の視点と方法」の効果的な能力開発手法」	6. 連続受講(FD・SD共通) 山田剛史、清水孝子(高知大学)「「テーマ別に基づく教育改善の視点と方法」 ~教員IR入門~」	
8 月 27 日 (水)	2	13:00 ~ 15:00	7. 連続受講(SD) 次世代リーダー養成ゼミナール(4期生)「若手職員に贈る「仕事の能力発見」講座 ~気づきから動くアクションプラン~」	8. 単独(FD) 坂田浩(徳島大学) 「教える」「に学ばせる授業-自律学習プログラム入門-」	9. 単独(FD) 坂田浩(徳島大学) 「教える」「に学ばせる授業-自律学習プログラム入門-」	10. 単独(FD) 坂田浩(徳島大学) 「教える」「に学ばせる授業-自律学習プログラム入門-」	11. 単独(FD) 坂田浩(徳島大学) 「教える」「に学ばせる授業-自律学習プログラム入門-」	12. 単独(FD) 坂田浩(徳島大学) 「教える」「に学ばせる授業-自律学習プログラム入門-」	
	3	15:30 ~ 17:30	13. 単独(FD) 坂田浩(徳島大学) 「教える」「に学ばせる授業-自律学習プログラム入門-」	14. 単独(FD) 坂田浩(徳島大学) 「教える」「に学ばせる授業-自律学習プログラム入門-」	15. 単独(FD) 坂田浩(徳島大学) 「教える」「に学ばせる授業-自律学習プログラム入門-」	16. 単独(FD) 坂田浩(徳島大学) 「教える」「に学ばせる授業-自律学習プログラム入門-」	17. 単独(FD) 坂田浩(徳島大学) 「教える」「に学ばせる授業-自律学習プログラム入門-」	18. 単独(FD) 坂田浩(徳島大学) 「教える」「に学ばせる授業-自律学習プログラム入門-」	
2 日目	1	10:00 ~ 12:00	9. 単独(FD) 吉田博(徳島大学)、柳原博久(芝浦工業大学) 兼松治(高知大学)「理工系設備形式授業の中で学生を動かせるひと工夫」	10. 単独(SD) 中道雅輝(高知大学)「インストラクショナルデザイン(ID/教育設計)を活用した職員による企画・立案・マネジメント」	11. 単独(FD・SD共通) 永谷研一(株式会社ネットマン)「絶対に達成する技術-成長する人の内省とは-」	12. 単独(FD) 奥野秀典(高知大学)「「ルーブリック評価入門」 ~考える、つく、活用する~」	13. 単独(FD) 小林直人(高知大学)「「大人教育法の基本」 ~考える、つく、活用する~」	14. 単独(SD) 兼松治(高知大学)「「大人教育法の基本」 ~考える、つく、活用する~」	
	2	13:00 ~ 15:00	15. 単独(FD・SD共通) 佐藤浩章(大阪大学)「リーダーゼミナー I「主体的な学び」を促進するカリキュラム・デザイン」	16. 連続受講(FD・SD共通) バーンホルツ、高橋浩野(高知大学)「国際連携推進委員会作成プログラム(レベル II)外国人受入支援」	17. 単独(FD) 竹田篤永(高知大学)「いろいろな「ラーニング・ワークショップ」 ~考える、つく、活用する~」	18. 単独(FD・SD共通) 清水孝子(高知大学)「「ラーニング・ワークショップ」 ~考える、つく、活用する~」	19. 単独(SD) 米澤順二(進手門学院大学)「「大学教員のためのコミュニケーション」 ~考える、つく、活用する~」	20. 単独(FD・SD) 野口里美(香川大学)「「大学教員のためのコミュニケーション」 ~考える、つく、活用する~」	
8 月 28 日 (木)	3	15:30 ~ 17:30	21. 単独(FD・SD共通) 大坪博(学校法人新神岡学園理事長)「リーダーゼミナー II「われわれはどのような経営視点をもてばよいのか?」 ~大学のマネジメントを考える~」	22. 単独(FD) 村田晋也(九州国際大学)「「大学防犯マネジメント」 ~考える、つく、活用する~」	23. 単独(FD・SD共通) 大橋知史(高知大学)「「大学防犯マネジメント」 ~考える、つく、活用する~」	24. 単独(SD) 中道雅輝、丸山智子(高知大学)「「大学防犯マネジメント」 ~考える、つく、活用する~」	25. 単独(FD・SD共通) 松本秀彦(高知大学)「「大学防犯マネジメント」 ~考える、つく、活用する~」	26. 単独(FD・SD共通) 松本秀彦(高知大学)「「大学防犯マネジメント」 ~考える、つく、活用する~」	
		18:00 ~ 20:00	懇親会(会場: 高知大学生生活協同組合: 食堂スペース: 150人程度参加を想定)						
3 日目	1	10:00 ~ 12:00	26. 単独(SD) 野口信、浜田昌代(高知大学)「「スタッフ・ボランティア作成入門」 ~考える、つく、活用する~」	27. 単独(FD) 藤本佳奈(香川大学)「「学生参加型授業入門」 ~考える、つく、活用する~」	28. 単独(FD・SD共通) 丸山智子、中道雅輝(高知大学)「「プロジェクトマネジメント」 ~考える、つく、活用する~」	29. 単独(FD・SD共通) 今城透(高知大学)「「プロジェクトマネジメント」 ~考える、つく、活用する~」	30. 単独(FD) 金西計英(高知大学)「「プロジェクトマネジメント」 ~考える、つく、活用する~」	31. 単独(FD・SD共通) 阿部光伸、清水孝子、吉田一憲(高知大学)「「プロジェクトマネジメント」 ~考える、つく、活用する~」	
	2	13:00 ~ 15:30	32. (FD・SD共通)(会場(7): 高知大学生生活協同組合: 食堂スペース: 200人収容) シンポジウム【テーマ: 大学人のためのリフレクシオン事例 - 人材育成研究・実践のフロンティアから考える】 [ファシリテーター: 中原淳(東京大学)/長野秀典(高知大学)]						
8 月 29 日 (金)	(注1) 赤字表記は「FDプログラム」を、青字表記は「SDプログラム」を、緑色表記は「FD・SD共通プログラム」を示す。 (注2) 番号2~7及び16の「連続受講」は、連続での受講を必須とするプログラムを示す。								

通番	担当	区分	プログラム名称	募集 定員	収容 人数	形態	時間(H)
1	高知大学(宮内卓也)	SD	研究支援職員としての基礎知識 ～ゼロから始める研究者との協働～	40	100	単独	2
2	愛媛大学(秦敬治、阿部光伸、吉田一恵、丸山智子)、追手門学院大学(米澤慎二) 他	SD	SDコーディネーター養成講座	30	70	連続受講	6
3	高知大学(塩崎俊彦)	FD・SD共通	経験から学ぶ力を育てる	30	70	連続受講	4
4	高知大学(立川明)・高知学園短大(高畑 貴志、濱田 美晴、三島弘幸)	FD	大学版反転授業:TBLの手法～問題を作って見よう～	40	90	連続受講	5
5	愛媛大学(秦敬治)	FD・SD共通	振り返りを活用した学生・教職員のための効果的な能力開発 手法	30	70	連続受講	5
6	愛媛大学(山田剛史、清水栄子)	FD・SD共通	データに基づく教育改善の視点と方法ー教学IR入門ー	40	90	連続受講	5
7	次世代リーダー養成ゼミナール (4期生)	SD	若手職員に贈る「仕事の魅力発見!!」講座～気づきから築くア クションプラン～	32	70	連続受講	4
8	徳島大学(坂田浩)	FD	教えずに学ばせる授業-自律学習プログラム入門-	30	70	単独	2
9	徳島大学(吉田博)、芝浦工大(榊原暢久)	FD	理工系講義形式授業の中で学生を輝かせるひと工夫	30	70	単独	2
10	愛媛大学(仲道雅輝)	SD	インストラクショナルデザイン(ID/教育設計)を活用した職員に よる企画・立案マネジメント	30	70	単独	2
11	永谷研一(株式会社ネットマン)	FD・SD共通	「絶対に達成する技術ー成長する人の内省とはー」(仮)	30	70	単独	2
12	高知大学(俣野秀典)	FD	ルーブリック評価入門 ～考える、つくる、活用する～	40	90	単独	2
13	愛媛大学(小林直人)	FD	大人数講義法の基本	30	70	単独	2
14	愛媛大学(秦敬治)	SD	職員向けマネジメントセミナーーもし、あなたの大学にドラッ カーがいたらー	40	90	単独	2
15	大阪大学(佐藤浩章)	FD・SD共通	リーダーセミナーⅠ「主体的な学び」を促進するカリキュラム・ デザイン」	90	100	単独	2
16	愛媛大学(バージnlルース、高橋志野)	FD・SD共通	国際連携系職員養成プログラム(レベルⅡ)「外国人受入実 践」	30	70	連続受講	4
17	高知大学(竹岡篤永)	FD	いろいろeラーニング・ワークショップ	30	70	単独	2
18	愛媛大学(清水栄子)	FD・SD共通	学びを促進するための学習支援とアカデミック・アドバイジング	40	90	単独	2
19	追手門学院大学(米澤慎二)	SD	大学職員の育成-自ら学び成長する-	30	70	単独	2
20	香川大学(野口里美)	FD・SD共通	ツールを使ってコミュニケーションー自己理解と他社理解ー	40	90	単独	2
21	学校法人新静岡学園理事長(大坪穂)	FD・SD共通	リーダーセミナーⅡ「われわれはどのような経営視点をもてば よいのか?ー大学のマネジメントを考えるー」	90	100	単独	2
22	九州国際大学(村田晋也)	FD	ジグソー学習法を用いたグループワークの進め方	30	70	単独	2
23	高知大学(大槻知史)	FD・SD共通	大学防災マネジメントー地域とおたがいさまの関係をつくるー	40	90	単独	2
24	愛媛大学(丸山智子・仲道雅輝)	SD	若手・中堅職員のためのコーディネート力養成講座	30	90	単独	2
25	高知大学(松本秀彦)	FD・SD共通	発達障がいについての基礎知識と高等教育機関での支援体 制について考える	40	90	単独	2
26	次世代リーダー養成ゼミナール 修了生	SD	スタッフ・ポートフォリオ作成入門	40	100	単独	2
27	香川大学(藤本佳奈)	FD	学生参加型授業入門	30	70	単独	2
28	愛媛大学(仲道雅輝・丸山智子)	FD・SD共通	プロジェクトマネジメント	30	70	単独	2
29	高知大学(今城逸雄)	FD・SD共通	地域体験を学びに変えるー“どうしようもない”から気づく力を つけるー	40	90	単独	2
30	徳島大学(金西計英)	FD	はじめましょうアクティブラーニングー橋本メソッドの事例からー	30	70	単独	2
31	愛媛大学(阿部光伸・清水栄子・吉田一恵)	FD・SD共通	大学の危機管理 ～事例から考えるハラスメント～	40	90	単独	2
32	ファシリテーター(東京大学 中原淳/高知大学 俣野秀典)	FD・SD共通	大学人のためのリフレクション事始ー人材育成研究・実践のフ ロントニアから考える	200	200	単独	2.5
計				1,372	2,710		83.5

※定員は各講師に確認中

平成26年度徳島大学全学FD推進プログラム
「授業設計ワークショップ」実施要項

1 目 的

各大学における教育の質向上への課題が高まる中、実質的なFDの取り組みを進めるための全学FD推進プログラムの一つとして、本ワークショップを毎年実施しています。このワークショップでは、教育の質向上及び問題解決のための相互交流と日常的な教育改善を重視しています。また、授業について教員同士が学び合う場を提供する事で、教育の質向上のためのコミュニティ形成につながることを期待しています。

2 目 標

1. FD活動の理念、活動計画を理解する
2. 授業を計画し、実施し、評価する方法を体得する
3. 授業研究の仕方を理解し、実践する
4. FD参加者同士の仲間づくりができる

3 概 要

このワークショップでは、主に授業設計と教育技術に関する理論と実践を学んでいきます。主な活動内容は、シラバスと授業計画の作成、模擬授業です。体験を通して、授業の目的、到達目標の設定、授業実施の留意点、評価方法等について理解し、具体的な授業計画を立て、模擬授業を実施します。これらの活動を通してご自身の授業について考え、振り返ることで、実践的な教育力の向上を目指します。(ワークショップまでにシラバスと授業計画書を一度作成頂くことになります。)

4 実 施 日 平成26年6月28日(土)・29日(日)

5 実施場所 共通教育棟6号館201(徳島大学大学開放実践センター2階)

*参加人数によっては教室を変更する場合があります

6 研修プログラム 別紙のとおり

7 対 象 者 (1) 徳島大学

- ・学外より、講師または准教授採用後1年以内の教員
- ・学内で、助教から講師または准教授昇任後1年以内の教員
(ただし、所属が研究部以外のセンター等、病院の場合、及びプロジェクト採用などの場合は除く。)
- ・学部等から推薦を受けた者(助教及び教授等)及び希望者
- ・平成25年度「教育力開発基礎プログラム」欠席者

【参加免除について】以下に該当する場合、参加が免除されます。

- ①学外で同様の研修を受けた場合(他大学等での研修修了者については、研修内容等がわかる資料を提出の上、個別に対応する。ただし、原則「授業コンサルテーション」、3年以内に「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」への参加をすることとする。)
- ②診療業務を主に担当している場合

【研修の代替について】

やむを得ない理由により本研修を欠席する者で、SPOD*の同様の研修に参加した場合は、授業設計ワークショップの代替を認める。(ただし、原則「授業コンサルテーション」、3年以内に「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」への参加をすることとする。)

(2) SPOD*加盟校

SPOD加盟校の大学・短期大学・高等専門学校の新任教員(若干名)

*SPOD=四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

8 参 加 費 無料

9 そ の 他 「授業設計ワークショップ」対象者は、原則「授業コンサルテーション」、3年以内に「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」への参加をすることとする。

※「授業コンサルテーション」の詳細は、

<http://www.cue.tokushima-u.ac.jp/fd/article/0000268.html> をご覧ください。

※「ティーチング・ポートフォリオ」の詳細は、

<http://www.teaching-portfolio-net.jp/> をご覧ください。

10 主 催 徳島大学FD委員会／四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

授業設計ワークショップ日程

第1日（2014年6月28日・土曜日）

集合場所：共通教育6号館201（徳島大学大学開放実践センター2階）

時 刻	内 容	講師・担当者	備 考
9:00-9:30	・受付（共通教育6号館201） ＊9:20までにお集りください		7:00AM 徳島市に「大雨警報かつ暴風警報」または「洪水警報かつ暴風警報」が出ていたら中止
9:30-10:00	（1）オリエンテーション ・大学教育、FD、SDへの期待 ・研修のねらいと意義 ・進め方とスタッフ紹介	川野卓二（進行） 副学長（教育担当） 高石喜久 FD委員会委員長 赤池雅史	教室：6-201
10:00-10:30	（2）アイスブレイク「忘れられない授業」 参加者自己紹介・交流	上岡麻衣子	教室：6-201
10:30-11:40	（3）講義・ワーク「さまざまな授業方法」 ・学生の主体的な学習を促進する授業方法	吉田博	教室：6-201
11:40-12:40	休憩 各自で昼食		生協食堂・売店営業
12:40-14:45	（4）講義・ワーク「よりよい授業実施のために」 ・授業設計と評価 ・シラバス、授業計画書の検討・修正 ・模擬授業説明	川野卓二 宮田政徳	教室：6-201
14:45-15:00	休憩		
15:00-17:45	（5）グループワーク「模擬授業・授業検討会」 （グループで実施） ・模擬授業の実施（撮影） 一人15分以内 ・授業検討会 一人10分 →チェックリストを基によかった点、改善点等を検討する ・2日目の模擬授業代表者の選出と役割分担を決定	各班司会：FD委員 ワーク支援： スタッフ全員	教室：各班グループ 部屋へ移動 第1講義室（1階） 第2講義室（1階） 6-303（3階） 6-306（3階） インテリジェントラボ（3階）
18:00-20:00	交流会（任意参加）	吉田博	生協食堂2階

第2日（2014年6月29日・日曜日）

時 刻	内 容	講師・担当者	備考
9:00-9:30	・集合、模擬授業準備 (教材印刷が必要な場合は9:00 集合)	スタッフ	教室：6-201
9:30-12:10	(6) 模擬授業実施 (グループ代表による模擬授業) A班 (9:30-10:00) B班 (10:00-10:30) C班 (10:30-11:00) 休憩 (10分) D班 (11:10-11:40) E班 (11:40-12:10)	司会：吉田博 コメンテーター： FD委員 支援：スタッフ全員	教室：6-201 〈模擬授業実施手順〉 ・模擬授業・授業検討会報告(班メンバーより3分) ・模擬授業 (15分) ・質疑応答(7分) ・交代(5分)
12:10-13:10	休憩 昼食(交流会) *全員参加		*生協休業
13:10-14:15	(7) プログラムのまとめ ・模擬授業のまとめ ・講評 ・授業コンサルティング、 ティーチング・ポートフォリオについて ・修了証書授与 ・アンケート ・おわりの言葉	川野卓二 FD委員会副委員長 羽地達次 FD委員会委員長 赤池雅史	教室：6-201

平成 26 年度 第 22/23 回 愛媛大学授業デザインワークショップ実施要項

1. 主 催

愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室（教職員能力開発拠点）

「愛媛大学授業デザインワークショップ」は『四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）』事業の一環である。

2. 期 日

第 22 回 平成 26 年 7 月 5 日（土）～7 日 6 日（日）久万高原ふるさと旅行村（宿泊研修）

第 23 回 平成 26 年 9 月 1 日（月）～9 月 3 日（水）愛媛大学城北キャンパス（通い型）

（同じ内容ですのでどちらか一方の参加となります。）

<第 22 回>

集合・出発時刻 1 日目 8:00 愛媛大学城北キャンパス正門前集合

8:10 出発（マイクロバスで移動）

※現地までは、原則として、愛媛大学から出発するマイクロバスでの移動をお願いします。

解散時刻 2 日目 15:20 愛媛大学城北キャンパス正門前解散

※詳細については以下のスケジュールをご参照ください。

<第 23 回>

集合・開始，終了時刻 1 日目 9 時 50 分集合，10:00 開始，20:00 終了予定（交流会含む）

2 日目 9 時 50 分集合，10:00 開始，17:00 終了予定

3 日目 8 時 50 分集合，9:00 開始，12:30 終了予定

※詳細については以下のスケジュールをご参照ください。

※上記日程でご都合が合わない方は、徳島大学、香川大学、高知大学においても同様の研修を実施しておりますので、そちらの研修にご参加ください。（詳細は 13 に表示）

3. 場 所

<第 22 回>久万高原ふるさと旅行村

〒791-1212 愛媛県上浮穴郡久万高原町下畑野川乙 488 番地 電話 0892-41-0711

URL:<http://www.kumakogen.jp/modules/furusatomura/>

<第 23 回>愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージズ

〒790-8577 愛媛県松山市文京町 3 番

<http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/index.html>

4. 参加対象者（一度参加した者は除く）

- 1) 一昨年度から今年度にかけて大学等に採用された，授業担当または担当予定の教員（授業担当経験 5 年以上を除く）
- 2) 参加を希望する教員
- 3) 愛媛大学テニユア・トラック教員

5. 定員

<第 22 回>20 名程度

<第 23 回>30 名程度

6. 実行委員（予定）

松本 長彦（実行委員長，教育・学生支援機構長）

小林 直人（教育企画室長）

山田 剛史（教育企画室准教授）

仲道 雅輝（教育企画室講師）

清水 栄子（教育企画室助教）

松本 章雄（能力開発室）

秋山 裕佑（能力開発室）

7. 目的

授業を担当するにあたって必要となる基礎的な知識と技術を学びます。具体的には，授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループ作業として体験し，参加者相互の話し合いを経てそれに関する能力を身につけます。

8. 目標

- 1) 適切な目的・目標設定ができるようになる。
- 2) わかりやすいシラバスを書けるようになる。
- 3) 様々な授業方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 4) 様々な成績評価方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 5) 学生参加型のグループ作業を、自らの授業で導入することができるようになる。

9. 研修形態

- 1) 体験型研修です。複数のセッションに分かれて、ミニ講義とグループ作業を繰り返します。
- 2) 異なる学部 of 教員が、普段着で肩書きなしの対等な意見交換をすることで、学習効果を高めます。
- 3) 研修自体がグループ学習形式であり、学生参加型授業を体験します。
- 4) 全員が 10 分間の模擬授業を行います。

10. その他

- 1) 『愛媛大学 FD ハンドブック もっと!!授業を良くするするために』第一巻（黄色い冊子）をテキストとして使用します。当日会場でお渡しします。
- 2) 研修が長時間に渡りますので、普段着でお越しください。
- 3) 第 22 回（7 月実施）では宿泊いたしますので、洗面道具・タオル・寝間着（パジャマ）・虫さされなどの常備薬、懐中電灯等をご準備ください。
- 4) 参加費として、第 22 回（7 月実施）は、8,500 円程度（宿泊費、食費、交流会費など）、第 23 回（9 月実施）は、5,000 円程度（食費、交流会費など）を当日会場で徴収します。詳細は後日お知らせします。
なお、ご都合により参加できなくなる場合は、1 週間前までに必ずご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費をご負担いただくことがあります。
- 5) 第 22 回（7 月実施）に参加する愛媛大学の教員は、出張扱いとなりますので、各部局の総務担当にお問い合わせ願います。また、愛媛大学正門から会場までのマイクロバスを運行しますので、ご利用ください。
- 6) 当日、カメラとビデオカメラでの撮影を行いますので了承ください。
- 7) 修了証書は、全日程に参加された方の方に授与されますので、あらかじめご了承ください。
- 8) 事前にアンケートをお願いすることになりますのでご協力お願いいたします。

11. お申し込み・問い合わせ

参加申込書（様式 1）によりお申し込みください。

＜申し込み・問い合わせ先＞

E-mail : info@iec.ehime-u.ac.jp TEL : (089)927-8922 (担当 清水)

12. プログラム日程

○第 22 回（7 月実施）スケジュール

第 I 部 1 日目（朝・昼・夕）プログラム

時刻	内容
9:30-9:40	(1) オリエンテーション ・研修の目的・目標の確認 ・スタッフ紹介とお願い
9:40-10:10	(2) アイスブレイキング ・自己紹介 ・グループワーク
10:10-10:40	(3) ミニ講義 I 「何が学生の学びを促進するのか？」

10:40－11:10	(4) ミニ講義Ⅱ「コースデザイン&クラスデザイン」 ・授業計画の立て方
11:10－11:15	休 憩
11:15－11:50	(5) ミニ講義Ⅲ「シラバスの書き方」 ・目標設定の立て方
11:50－12:00	(6) グループワークⅠ「共通教育科目の開発Ⅰ」 ・目標設定 ・授業計画 ・シラバス作成
12:00－13:00	集合写真撮影・昼食・休憩
13:00－14:15	(7) グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅰ」 ・目標設定 ・授業計画 ・シラバス作成
14:15－14:25	休 憩
14:25－15:00	(8) ミニ講義Ⅳ「様々な授業方法」 ・講義形式のメリット・デメリット ・双方向型授業のコツ ・体験型授業 ・参加型授業
15:00－16:00	(9) グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅱ」 ・シラバス作成 ・授業計画と評価計画
16:00－16:10	休 憩
16:10－16:45	(10) ミニ講義Ⅴ「よりよい成績評価の仕方」 ・成績評価の目的 ・評価の方法と評価対象
16:45－18:00	(11) 中間発表 ・発表 3分 ・コメント 15分

第Ⅱ部 1日目（夜）プログラム日程

時刻	内容
18:00－19:00	夕 食
19:00－21:00	(12) グループワークⅣ「共通教育科目の開発Ⅳ」 ・授業計画案作成
21:00－21:30	交流会
21:30－	自由時間・お風呂・就寝

第Ⅲ部 2日目（朝・昼）プログラム日程

時刻	内容
7:30—8:30	朝 食
8:30—10:00	(13) グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅴ」 ・ミニ授業の練習
10:00—12:00	(14) ミニ授業（導入の10分） ・授業紹介 ・ミニ授業 10分 ・討議・検討 15分
12:00—12:30	(15) 閉会式 ・振り返り（学んだことは何か？どう実践に活かすか？） ・修了証書授与 ・閉会の言葉
12:30—13:30	昼 食

13:45 現地出発 15:20 解散予定

※内容等予定は変更になる場合がございます。

○第22回（9月実施）

第Ⅰ部 1日目（朝・昼・夕）プログラム

時刻	内容
10:00—10:10	(1) オリエンテーション ・研修の目的・目標の確認 ・スタッフ紹介とお願い
10:10—10:45	(2) アイスブレーキング ・自己紹介 ・グループワーク
10:45—11:20	(3) ミニ講義Ⅰ「何が学生の学びを促進するのか？」
11:20—11:25	休 憩
11:25—12:00	(4) ミニ講義Ⅱ「コースデザイン&クラスデザイン」 ・授業計画の立て方
12:00—13:00	集合写真撮影・昼食・休憩
13:00—13:35	(5) ミニ講義Ⅲ「シラバスの書き方」 ・目標設定の立て方
13:35—14:50	(6) グループワークⅠ「共通教育科目の開発Ⅰ」 ・目標設定 ・授業計画 ・シラバス作成
14:50—15:00	休 憩

15:00－15:35	(7) ミニ講義Ⅳ「様々な授業方法」 ・ 講義形式のメリット・デメリット ・ 双方向型授業のコツ ・ 体験型授業 ・ 参加型授業
15:35－17:00	(8) グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅱ」 ・ シラバス作成 ・ 授業計画と評価計画
17:30－19:30	交流会

第Ⅱ部 2日目プログラム日程

時刻	内 容
10:00－10:35	(9) ミニ講義Ⅴ「よりよい成績評価の仕方」 ・ 成績評価の目的 ・ 評価の方法と評価対象
10:35－12:00	(10) グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅲ」 ・ 評価計画
12:00－13:00	昼 食
13:00－14:15	(11) 中間発表 ・ 発表 3分 ・ コメント 10分
14:15－14:25	休 憩
14:25－17:00	(12) グループワークⅣ「共通教育科目の開発Ⅳ」 ・ 授業計画の立て方

第Ⅲ部 3日目プログラム日程

時刻	内 容
9:00－10:00	(13) グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅵ」 ・ 授業の練習
10:00－12:00	(14) ミニ授業（導入の10分） ・ 授業紹介 ・ ミニ授業 10分 ・ 討議・検討 15分
12:00－12:30	(15) 閉会式 ・ 振り返り（学んだことは何か？どう実践に活かすか？） ・ 修了証書授与 ・ 閉会の言葉

※昼食はお弁当を準備いたします。

※一日目の交流会はできる限りご参加ください。

※内容等予定は変更になることがあります。

13. 他大学における新任教員プログラムのご案内

- 1) 愛媛大学「授業デザインワークショップ」及び以下の徳島大学、香川大学、高知大学で開催されている新任教員プログラムは、四国地区教職員能力開発ネットワーク(SPOD)内で標準化されており、どのプログラムを受講しても同様の効果を得ることができます。
- 2) 以下のプログラムの受講を希望される方は各大学申し込み先にご連絡ください。

◆徳島大学「授業設計ワークショップ」

【日程】6月28日(土)～6月29日(日)

【会場】徳島大学大学開放実践センター2階(6号館 201)

【申し込み先・問い合わせ先】

徳島大学総合教育センター(担当/吉田)

TEL: 088-656-9865

E-mail: t-spod@cue.tokushima-u.ac.jp

◆香川大学「よりよい授業のためのFDワークショップ」

【日程】9月18日(木)～19日(金)

【会場】休暇村讃岐五色台(香川県坂出市)

【申し込み先・問い合わせ先】

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ

TEL: 087-832-1153

E-mail: gakusenm4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

◆高知大学「学生の学びを支援する授業準備ワークショップ」

【日程】9月1日(月)～9月2日(火)

【会場】高知大学共通教育棟3号館1階310教室

【申し込み先・問い合わせ先】

高知大学学務部学務課

TEL: 088-844-8652

E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp